

発行： 日本社会病理学会
事務局： 〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町 96
佛教大学 日本社会病理学会事務局
TEL 075-491-2141(代)FAX 075-493-9032
URL <http://socproblem.sakura.ne.jp>
e-mail : shabyori@gmail.com
郵便振替口座：00170-4-56341
編集責任者：作田誠一郎（庶務理事）

【目次】

- | | | |
|------------------------|-------|---|
| 1. 第39回大会開催校挨拶 | | 1 |
| 2. 第39回大会について（研究委員会より） | | 2 |

重要事項

1. 第39回大会では、大会参加費ならびに懇親会参加費の事前申込・事前決済をお願いしております。8月31日（木）を期限に、本レター内のQRコード、本レター及び学会Webサイト記載のURLリンクより、忘れずにお申し込みをいただくようお願い申し上げます。
2. 第39回大会では、本年度は紙媒体のプログラム・報告要旨集は発行いたしません。オンライン版のプログラム・報告要旨集は、日本社会病理学会ウェブサイトにて8月17日頃公開されます。
3. 末尾に「学会 出席・発表のための出張扱いについて（ご依頼）」を添付しております。ご活用下さい。

1. 第39回大会開催校挨拶

立教大学 中森弘樹（大会実行委員長）

日本社会病理学会第39回大会を2023年9月6日・7日の日程で、立教大学池袋キャンパスにて開催させていただくことになりました。

Covid-19が完全に収束したとは言いがたい状況ですが、社会は日常を取り戻しつつあります。日本社会病理学会もまた、二度のオンライン大会を経た後に、昨年度の北陸学院大学大会から対面大会の再開へと舵を切りました。前回大会のような大成功を収めるのが難しいことは承知のうえで、受け取ったバトンを落とさぬよう、開催校教員としてホスト役を精一杯務めたいと思う次第です。

弊学のルーツは、1874年にウィリアムズ主教が設立した私塾・立教学校にまで遡ることができます。今大会の会場となる池袋キャンパスが開設されたのは1919年で、当時の写真からは、すでに現在の校舎の面影を見て取ることができます。この池袋キャンパスの特長

は、なんといっても池袋駅西口より正門まで徒歩7分という利便性です。おそらく、日本社会病理学会内では経験も学も浅い私に、ホスト教員としての白羽の矢が立ったのも、この弊学のアクセスの良さに依る部分が大いと思われます。この数年で、オンライン学会に慣れ親しんだ会員の皆様におかれましても、対面の大会へと、いま一度足をお運びいただけるとありがたく存じます。

加えて、社会病理学という分野横断的な学問領域と、ミッションスクールでありつつリベラルアーツ教育を重視する弊学の学風が、好相性であるという点も強調しておきたいです。日ごろ私が慣れ親しんでいるキャンパスのなかで、社会病理学の新しい知見が生まれるとしたら、一会員としてこれほどの喜びはありません。

以上は、私の広義の意味での職場の話ですが、狭義の職場についても少しだけ触れさせてください。私は日ごろ、21世紀社会デザイン研究科という、立教大学のなかでも独立研究科と呼ばれる機関の一つで働いています。同研究科は、いわゆる「社会人大学院」で、現役の社会人を含む様々な年齢の学生が、学位取得を目指して励んでいます。それゆえ、学会のお手伝いを担当する学生（私のゼミ生たち）にも、ふだんの大会よりも多様な年齢・国籍の者が含まれることになろうかと思ひます。私自身が学会のホスト役を務めるのは初めてであることも相まって、もしかしたら、運営面で不手際などあるかもしれませんが、温かい目で見守ってくださると幸甚です。

2. 第39回大会について（研究委員会より）

第39回大会（立教大学大会）のご案内

今年の学会は、立教大学が会場となります。コロナの影響でしばらくは、通常のかたちでの学会大会が開かれませんでした。そうしたなかで、昨年度の北陸学院大学（金沢市）大会で対面開催を実施し、そして本年度は対面開催に加えて、久々の懇親会を準備する運びとなりました。オンライン開催には遠方からの参加のしやすさがありましたが、対面での発表や討議、そして懇親会での談義や親睦も、学会大会の真骨頂ではないでしょうか。どうか会員のみなさまには、東京・池袋の立教大学まで足をお運びください。

学会プログラムには、総会・開会式・閉会式のほか、①自由報告部会、②テーマセッション、③シンポジウムが編成されていて、自由報告部会は4部会からなり11の報告があり、学会員の研究テーマの奥行きを示す多様な発表が用意されています。テーマセッションは「宗教現象の現在と社会病理——新宗教をめぐる問題を中心に」がテーマで、3名の登壇者がそれぞれの専門の視点や当事者経験を踏まえて基調報告をし、今注目を集めるこのテーマについて、討議が深められればと期待されます。学会2日目の午後には、シンポジウムが開かれます。テーマは「統合型リゾート・カジノ（IRカジノ）問題と社会病理学」で、複数の学術研究分野からの問題の解明や対策の有効性などの論議が交わされます。政治案件として耳目を集めるテーマを、本学会では学術シンポジウムとして取り上げ、多様な専門のシンポジストの基調報告をベースに、会員のみなさまにも質疑や討議に加わっていただきたく存じます。

なお、大会参加費については事前支払いの方式をとっております。次のページをご覧ください。大会当日受付時に領収書をお渡しいたします。

開催校	立教大学
会期	2023年9月6日(水)～7日(木)
会場	立教大学池袋キャンパス
理事会	9月6日(水) 11:00～12:00
総会	9月6日(水) 16:50～17:30
参加費	【会員】一般：2,000円／大学院生：1,000円 【非会員】一般・大学院生：2,000円／学部生：無料
懇親会費	4,500円

大会校からのお知らせ

・学内の食堂は当日は営業していません。各自でご準備いただくか、近隣のコンビニエンスストアや飲食店をご利用いただくよう、お願い申し上げます。ローソンが、会場の5号館を出てすぐの場所にあります。

・今回の大会では、受付業務を最小限にするため、ご参加にあたり、大会参加費ならびに懇親会参加費の事前申込・事前決済をお願いしております。8月31日(木)を期限に、忘れずに下記からお申し込みをいただくようお願い申し上げます。なお、受付では大会参加費と懇親会参加費を分けた領収書をお渡しする予定です(公印省略)。

<URL><https://kokc.jp/e/22888f205fd1568b2dd89b9adbb9b3f/>

<QRコード>



・なお、本年度は紙媒体のプログラム・報告要旨集は発行いたしません。オンライン版のプログラム・報告要旨集は、日本社会病理学会ウェブサイトにて8月17日頃公開されます。

以上